

学部及び学科のアドミッション・ポリシーについて（案）

1 趣旨

2025年度に受審した大学機関別認証評価において改善を要する事項として、「学部のアドミッション・ポリシーについては、中央教育審議会のガイドラインを踏まえた入学者選抜のあり方を明示することが求められる」と指摘されたことを受け、学力の3要素を念頭においた、どのような学生を受け入れるかを定める基本的な方針を示すものとなるよう変更を行う。

また、3ポリシーにおいては、学生の募集単位で定める必要があることから、ディプロマやカリキュラムと同様に学科のアドミッション・ポリシーを新たに定めるもの

2 変更及び制定の内容

(1) 学部アドミッション・ポリシーの変更

AP1 (基礎的な知識・技能)

経営学・経済学分野を学び広い教養を身につけるために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている。

AP2 (思考力・判断力・表現力)

経営、経済、地域の課題に関心を持ち、論理的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている。

AP3 (主体性・多様性・協働性)

専門的な知識と教養的な知識を関連させ、より深く理解し実践するために、主体性をもって多様な人々と協働する態度を備えている。

(2) 学科のアドミッション・ポリシーの制定

【経営学科】

AP1 (基礎的な知識・技能)

経営学の視点から組織の経営を学修するために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている。

AP2 (思考力・判断力・表現力)

組織の経営の課題に関心を持ち、論理的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている。

AP3 (主体性・多様性・協働性)

様々な組織を理解するために、多様な考えに対する柔軟性を持ち、他者と協働し主体的に行動する態度を備えている。

【経済学科】

AP1 (基礎的な知識・技能)

経済学の視点から市場と経済主体（個人・組織・国家など）の活動を学修するために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている。

AP2 (思考力・判断力・表現力)

経済の課題に関心を持ち、論理的かつ分析的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている。

AP3 (主体性・多様性・協働性)

現実の社会・経済を理解するために、多様な考えに対する柔軟性を持ち、他者と協働し主体的に行動する態度を備えている。

【地域みらい学科】

AP1 (基礎的な知識・技能)

地域の文化、社会、環境などを、経営学・経済学の視点を交えて学修するために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている。

AP2 (思考力・判断力・表現力)

地域の課題に関心を持ち、論理的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている。

AP3 (主体性・多様性・協働性)

地域の未来を創造しようとする強い意欲と多様な考えに対する柔軟性を持ち、他者と積極的に交流し、協働しながら、主体的に行動する態度を備えている。

3 参考

【現行のアドミッション・ポリシー (学部のみ)】

- 「経営経済の専門性をもった教養人の育成」という本学の教育目的に合致した学生を受け入れる。
- 受験学力よりも、入学後の学修に必要な主要教科の基礎学力を備えていると同時に、入学後の学修に関する問題意識を持ち、厳しい修練に耐え抜く強い意志と自己管理能力をもった学生を受け入れる。
- 学力だけではなく多様な観点から入学者を選抜するが、総合型選抜Ⅱを除くすべての入学者に、大学入学共通テストの受験と成績表の提出を義務付ける。
- 学校推薦型選抜については、本学の教育課程を支えるGPAデータ等に基づく選抜基準によって、入学を許可する。
- 長寿社会と高度知識基盤社会の要請に応えるため、編入学の学力検査によって入学を許可する。
- 帰国生徒ならびに社会人および外国人留学生については、学力に関する特別選抜によって入学を許可する。

※学科のアドミッション・ポリシーは定めていない。